

「湖風会」平成 25 年度 第 4 回 役員会議事録 37

日時 : 平成 25 年 10 月 12 日(土) 13 : 45 ~ 17 : 30

場所 : 「湖風会館」

出席者 (敬称略) 役員 : 岡田・北川・松下恭・中川・藤本・松下欣・大森・國松・日置・中村
安寺・辻・玉井・柳沼

記録係 : 事務局 / 中村

定足数確認 役員総数 26 名 出席 14 名 委任状 8 名 計 22 名 [定足数 2/3 可]

配布資料 ・平成 25 年度第 4 回 役員会資料

- ・滋賀県立大学開学 20 周年記念事業の共催について(依頼)
- ・滋賀県立大学同窓会「湖風会」会則 付帯細則の一部改正について(案)
- ・滋賀県立大学同窓会「湖風会」職員就業規則(案)
- ・8 月 27 日産経新聞記事
- ・湖風会館落成式時学生アンケート(案)

岡田会長あいさつ

来月の同窓会館落成式に協力をお願いする。新聞記事についての照会に関する事と、県大 20 周年記念事業の件で大学側から、仁連副学長と垣立経営戦略 G 統括が参加される。

県立大学開学 20 周年記念事業の企画について [仁連副学長・垣立経営戦略 G 統括]

- ・ H27、開学 20 周年記念事業を行うにあたって、湖風会の共催をお願いしたい。
- ・ 20 周年記念マーク、記念グッズ、マスコットキャラクター、海外協定大学からのゲスト講演、ディベート大会、湖風夏祭りや京滋戦とコラボする事。大学の歴史を物語る写真の展示。等様々な案が企画準備会で出された。[垣立統括]
- ・ 現在準備委員会にオブザーバーとして事務局竹内が参加している。20 周年記念実行委員会(仮)を設立後は本部と、各事業担当に参加を希望する。
- ・ 湖風会以外では県立大学後援会に後援を依頼する予定。
- ・ ターゲットは、滋賀県立短期大学・滋賀県立大学の卒業生、受験生、広い意味で地域の方とする。
- ・ 予算は、27 年度予算で賄う。
- ・ 刊行物は、記念誌ではなく現在発刊している物(県大 jiman 等)を特別号にする案も出ている。
- ・ 大学側から同窓会に期待する事として、OB、OGとのつながりを求める。もっと県大に來校され、行事に参加されて、学生とコミュニケーションを取っていただける事を願う。
- ・ 他大学の記念行事の例として福井県立大学が、講演・シンポジウム・記念式典・祝賀会・ホームカミングディ等大々的にされた。
- ・ 会場は県立大学内で開催する事を考えている。

県立大学広報誌にかかる新聞記事に対する意見について

- ・ 8月27日付産経新聞、県立大の広報誌発刊記事の文中、創立10周年を迎えた同大学の地域貢献活動「近江楽座」の特集などが記載されている。この記事についてOBより、県立大学は、本来前身である短期大学、工業専門学校、農業短期大学等から引き継がれている物なので創立10周年では無い。大学内で理解されていないのではないかと意見が有り対応した。
- ・ 大学側の対応として、新聞記事は紛らわしい表現であったが、「近江楽座」の創立10周年について述べたものであった事。沿革については、大学HP等で1950年短期大学開学の時からの記載になっており、その様に学内で周知されている事を伝えた。
- ・ 彦根工業専門学校、彦根高等女学校専攻科、農業講習所まで遡って詳細に記載する事を検討する事。但し、大学の周年のカウントは、今まで通り短期大学開学より数えることとする事としたい。
- ・ 湖風会役員の対応として、ご意見を頂いた方は、滋賀大学経済学部客員教授、県立大学人間文化学部紀要「人間文化」に寄稿されている方である。その方のみならず、OB、OGにとって県立大学の事は関心事であり、期待もしておられる。県立大学には相応の歴史が有るが、資料を見ると、短大開学の昭和25年から、10周年、20周年、40周年記念事業を行っており、その時に一応の区切りを付けてある。
- ・ 県大Jiman第4号の発刊でルーツ特集があり、それではっきりしたと認識している
- ・ 県内学生を多く入学させて欲しいとの意見について、現在も推薦入試制度が有り有利になっている。

仁連副学長・垣立経営戦略G統括 退席

議長：辻ひとみ氏（芹翠会）

[議題]

報告事項

1. H.25年度 第3回役員会 8月10日(土)開催議事録の確認

2. 活動委員会・支部からの報告について

・名簿管理委員会

10月12日(土)第2回名簿管理委員会を開催。

HPに連絡先不明者リストをアップして、連絡先の問い合わせをする。個人情報でもあるが掲載を承諾する。

名簿管理システム制作について、ナックウェブ、コンピュータームーブの二社で見積もりを取った。ナックウェブは約30万円。コンピュータームーブは市販ソフトを使用して約50万円、独自ソフトを制作すると約120万円。ナックウェブを採用する。

名簿管理システム制作に係る予算について審議し、予算を25年度一般会計次年度繰越金から支出する事を承認する。

同窓会名簿の件、500頁から700頁ほど、3千冊。300万円程度になる。近江印刷、田中印刷の二社で見積もりを取っている。湖風会10周年実行委員会(仮)に引き継ぐ予定。

・広報(HP・会報)委員会

11月11日(月)第2回HP委員会開催予定。10月17(木)第3回会報委員会開催予定。

12月1日付で、湖風会報第4号を発行予定。A4×8頁。サイズ、用紙共に前回の物から変

更する。原稿はほぼ揃っているが、大学のルーツ等を執筆頂ける方を募集する。
会報と同送する物は、寄付者名簿、寄付の振込用紙、寄付の依頼文書(日置)の予定である。
寄付の目標額に達成していないため、依頼文書は熱意の感じられる物にすべきとの意見。

・総務委員会

9月14日(土)第4回総務委員会を開催。

大学開学20周年でもあり湖風会として、大学や学生に何が出来るかを模索し、動いていく方向である。

職員就業規則を作成し、確認を得た。

・就職支援委員会

9月2日(月)第3回委員会を開催。

10月26日(土)保護者説明会にOB3名に来校を依頼し、就活における経験を座談会で話をして頂く。

11月あるいは12月に、就職支援委員会主催の卒業生と在学生との座談会を設ける計画である。

落成式後の学生との座談会に学生を呼ぶのは難しいのでは無いかとの意見。

・滋賀支部

11月16日(土)役員会開催予定。

・工学部学友会

理事会を開催した。

平成26年6月1日 第2回工学部学友会総会を湖風会館にて開催予定。約100名教職員会員48名参加する。教員に呼びかけをして、教員との関係を深め、次に学生との関係を深める事を考えている。イベントとして卒業生が係るマンドリンクラブを呼ぶ予定。

審議事項

1. 「湖風会」会則 付帯細則の一部改正について

添付資料参考 決議する。

会則は委員会の決議にて改正し、HPに載せていけば良いのではないかという意見。

議事録に改正を記載し、承認を得たなら改正ではないのかという意見。

会則の形成は、総会の議決が必要。細則の改正は、役員会での決議にて承認される。後HP掲載する。

2. 「湖風会」創立10周年に向けた取り組みについて

「湖風会」は、短期大学の3学部である家政、工業、農業で設立、のちに看護、そののち県大学が合同になり同一の同窓会になった。

起点は平成18年の合同の同窓会が発起した折とする。

創立10周年記念事業、名簿を発行するにあたって準備委員会を作るのはどうか、次回役員会で協議の予定。

県立大学開学 20 周年記念事業準備会について

大学開学 20 周年記念事業に共催する事を全員一致で決議する。

大学開学 20 周年記念日は平成 27 年 6 月 6 日であり、「湖風会」設立 10 周年記念日は平成 28 年 11 月 11 日であるので、分けてそれぞれに考える事とする。

3. 湖風会館落成記念事業について 11 月 10 日（日）

落成記念式典への出席希望者多数の為、会場を変更し、湖風会館会議室、談話室にて開催する。

懇親会はナシエリアにて開催する。

記念式典の後、学生との懇談会を設けるための話題にアンケート（案）を作成したが再検討が必要。

来賓は学長が出席。他理事、統括、には学校側にスケジュールを訪ねて要請する。前会長については、回答が無い為、改めて岡田会長から連絡を取る事とする。

懇親会出席者のみ、名札を用意する。

当日準備等の集合時間、担当等詳細を協議する。別紙参照。

座談会の議題を決めておく必要がある。

4. 同窓会による大学（学生）支援方策について

支援について、何らかの案を提出して欲しいが本日は時間も無いので各自考えておいて欲しい。

5. 学部支部設立準備状況について

人間文化学部の担当に連絡を取り、芹翠会と協議をする計画である。日程調整中

6. その他

落成式の当日準備に、役員は遅れても来校し協力する事。

座談会の議題テーマを決める等準備をしないと成功しないのではないかと。

横断幕、案内板を作る事。

懇親会出席者だけでなく、式典のみの出席者にも名札を作る。

必要な方のみ領収書を出す。

次回： 平成 25 年度 第 5 回 役員会

平成 25 年 12 月 14 日（土）

13：45～

「湖風会館」